

合格勝ち得た受講生 新たな門出を祝う

総合資格新潟祝賀会

総合資格新潟支店（古賀清支店長）は9日、新潟市中央区の学生総合プラザSTEPで、同支店が運営する総合資格学院新潟・長岡両校の2011年度の一・二級建築士と宅地建物取引主任者の合格者祝賀会を開いた。写真。



冒頭、両校の校長を務める古賀支店長は「皆さんは努力で栄冠を勝ち取ったがこれで終わりではない。本当の意味での勉強はこれから。日々変化していく状況の中で、今後も学習の継続を」と呼び掛け、新たな門出にエールを送った。

祝賀会には両校で学び見事合格を勝ち得た約30人が出席。来賓として祝辞を寄せた阿部雅春新潟県建築士会常務理事は、建築士資格の社会的な重要性を強調し、今後の活躍に期待感を表した。

講師を代表し、一級建築士設計製図の授業を担当した稲垣隆講師は「一級建築士は一般の人から尊敬される。大いなる尊敬には大いなる責任もついてくる」と、今後の一層の研さんと呼び掛けた。

この後全員で乾杯し、合格と新たな出発を祝福し合った。

今年度一級の設計製図試験に合格した大宮雅博さんは「学院のコンパクトな教材のおかげで勉強時間を効率的に使えた」と振り返った。同じく一級の学科、設計製図をストレートでクリアした佐藤祥子さんは「分からないところを講師に何度も質問でき、理解が早まった。これからは楽しく、面白い建築をつくりたい」と抱負を語った。

今年度の一級建築士設計製図試験では新潟県内で57人が合格し、うち26人が同学院新潟・長岡校の受講生で占められている。

また、同学科試験では同じく51人中、23人が両校受講生だった。